

1. コンプライアンス推進の取組み状況について

(1) 島根原子力発電所点検不備およびLLW流量計不適切事案に対する取組み状況

■再発防止対策の主な実施状況

前回委員会報告以降における再発防止対策の主な取組み状況は次のとおり。
なお、全体の実施状況は別紙のとおり。

a. 不適合管理プロセスの改善（点検不備）

平成29年11月～平成30年1月の不適合判定検討会において、535件の不具合情報を審議し、このうち153件を不適合とした。

今回、A、Bグレードは発生していない。

b. 原子力部門の業務運営の仕組み強化（点検不備）

原子力部門戦略会議を定例的に開催し、点検不備問題、LLW流量計不適切事案に係る再発防止対策の進捗状況やその運用状況等について確認するとともに、LLW流量計不適切事案に係る再発防止対策の実施状況・評価報告書の取扱いについて確認した。

また、原子力安全維持・向上活動および検査制度の見直しに係る対応状況や今後の進め方等について確認した。

c. 業務運営の改善（LLW流量計不適切事案）

本社・島根原子力本部・発電所において、ライン長が自身の業務管理を振り返る平成29年度第2回自己評価を実施した。（12月～1月）

d. 原子力安全文化醸成活動の推進（点検不備およびLLW流量計不適切事案）

(a) LLW流量計不適切事案の事例研修（含、適切な発注業務に係る研修）

島根原子力本部・発電所・建設所の課（グループ）単位で、ライン管理職が所属員に対してLLW流量計不適切事案の発生経緯や原因等について説明するとともに、適切な発注に係る留意事項を再周知。説明後、参加者一人ひとりに問題点を理解したことを確認した。（11月～1月）

(b) コンプライアンス行動基準およびグループ行動基準のふり返し

島根原子力本部・発電所・建設所の課（グループ）単位で、コンプライアンスに係る行動基準およびグループ行動基準について、決めたとおりに行動できたか各グループで振返りを実施した。（11月～1月）

(c) 役員と発電所員との意見交換会の開催

日程	出席者	テーマ
1/17	<ul style="list-style-type: none"> ・小川副社長 ・発電所員（9名） （H24年度入社） 	<ul style="list-style-type: none"> ・仕事に対する思い（やりがい等）について

(d) お客さま視点の価値観を認識する機会拡大

個々の業務の重要性や地域との関わりについて認識を向上させるため、地元行事や社会貢献活動等への参加を継続実施中。

(e) 第19回原子力安全文化有識者会議の開催

2月9日に開催し、「LLW流量計不適切事案と点検不備の再発防止対策の取り組み状況」「原子力安全文化醸成に向けた取り組み」について議論するとともに、「原子力部門人材育成プログラムの実施状況」「新規制基準への適合性審査状況」「中央制御室空調換気系ダクトの腐食」について情報提供した。

e. 原子力部門人材育成プログラムへの取り組み

昨年10月に新設した「原子力人材育成センター」において、「原子力部門人材育成プログラム」に基づく施策を展開。多様な価値観に触れる経験を通じて幅広い視野を涵養するなどの観点から、今年度は以下の施策を実施。

○ 具体的施策

- ・ 松江営業所における業務体験
- ・ 階層別研修（課長・副長クラスは社外セミナーの受講，主任クラス・入社3年目社員は集合研修を開催）
- ・ 異業種交流への参加
- ・ 近隣事業所（島根料金センター）社員との意見交換

(2) 平成29年度コンプライアンス推進施策の主な実施内容

a. コンプライアンス経営推進誓約（2月）

人事異動に伴い対象となった組織の責任者（部長・所長等）11名が「コンプライアンス経営推進誓約書」に署名し、執務室に掲示。

b. 不適切事案の水平展開（2月）

中国電力グループで発生した不適切事案や企業倫理相談窓口へ通報された事案（平成29年8月～10月）について、各事業本部・部門等へ水平展開。

c. 階層別研修（1～2月）

人事異動に伴い、新たに所長・課長となる社員を対象として、コンプライアンス推進の重要性や管理職に求められる役割等を認識するため、研修を実施。また、新たにライン管理職となった127名（マネージャー・課長・副長）にコンプライアンス参考書籍「不祥事に巻き込まれない技術（笹本雄司郎著）」を配付。

d. 業務実態やルールの適切性確認に関する重点実施（1月～3月）

業務実態やルールの適切性確認を通じた問題提起を活性化するため、人事異動者を対象に、新たな職場への異動後に、前職場との違いや新職場独自ルールの存在等について、疑問点や問題点等をレポートに記録し、各職場で検討する「新職場における問題提起活動」を実施中。

e. グループ会社の管理・指導面を強化

(a) エネルギアグループコンプライアンス・リスク管理責任者会議の開催（1月）

グループ内部統制における当社からグループ各社取締役への働きかけの場として、今年度2回目の会議を開催。グループ各社で発生したコンプライアンス・リスク事案を踏まえ、内部統制面・組織風土面等の視点から留意事項を説明するとともに、コンプライアンス最優先の業務運営に向けた主体的な対応を依頼。また、所属長業務点検の実施状況など当社のコンプライアンスへの取組状況を情報提供するとともに、グループ会社（3社）がコンプライアンス推進やリスク管理に関する取組状況を紹介し意見交換。さらに、考査部門から「不祥事予防のマネジメント・ツール」のグループ各社における活用状況を報告。

(b) エネルギアグループ企業兼務監査役との意見交換（1月）

グループ内部統制における当社からグループ各社兼務監査役への働きかけの場として、当社考査部門が開催。コンプライアンス・リスク事案の発生状況および傾向について報告するとともに、内部統制面・組織風土面等の留意事項等について意見交換。

(3) 平成30年度 全社コンプライアンス推進の取組み

平成29年度全社コンプライアンス推進計画の実施状況を評価のうえ、「平成30年度全社コンプライアンス推進計画（案）」を以下のとおり策定。

コンプライアンス意識や業務管理の徹底への取組みを継続するとともに、各職場においてより自律的に課題・問題を早期把握・是正していけるよう、「問いかける姿勢」の浸透や言い出しやすい職場づくりに向けて、効率性・実効性の視点で工夫を加えながら、コンプライアンス推進施策を展開していく。

また、グループ大のコンプライアンス推進については、グループ内部統制の充実に向けて、引き続き各社への支援を継続するとともに、課題のある会社への指導等に重点を置いて取り組んでいく。

なお、平成19年度以降毎年実施してきた職場実態・社員意識調査については、ここ数年、各設問項目の評価傾向に大きな変化がないことから、業務運営の効率化の観点から隔年実施に見直し、今回は平成31年度に実施する。グループ会社については、毎年実施している会社もあることから、平成30年度も支援する。

a. コンプライアンス強調月間の実施

過去の不適切事案を教訓とするための諸施策を実施する。また、コンプライアンス推進に向けた話し合いでは、社員の意識面に焦点を絞った話し合いを継続する。

b. 効果的な研修や業務点検等の実施

ライン管理職（マネージャー・課長・副長等）を対象に職場マネジメントに関する研修を実施する（平成28年度から3年目）。近年施策内容を充実してきた「業務実態やルールの適切性確認」「所属長による業務点検」等の施策の実効性向上に向けて取り組む。

c. グループ内部統制の充実

グループ各社における不適切事案の発生状況等を踏まえ、課題があるグループ会社には業務運営の改善要請等を実施するなど重点的に対応していく。

2. 内部通報制度の運用状況について

平成29年11月から平成30年1月の間に、相談窓口にて7件の通報・相談が寄せられた。いずれの事案についても必要に応じて事実調査等を行い、顕名による通報・相談者には結果を連絡するなど対応した。

社内・社外別 通報・相談件数 (件)

	11月	12月	1月	計
社内窓口	1(0)	1(0)	5(0)	7(0)
社外窓口	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
計	1(0)	1(0)	5(0)	7(0)

() はグループ会社に関する受付件数を再掲

顕名・匿名別 通報・相談件数 (件)

	11月	12月	1月	計
顕名	1(0)	0(0)	3(0)	4(0)
匿名	0(0)	1(0)	2(0)	3(0)
計	1(0)	1(0)	5(0)	7(0)

() はグループ会社に関する受付件数を再掲

(注) 前回委員会報告以降に進捗した箇所を網掛けで表示。

島根原子力発電所点検不備に係る再発防止対策の主な取り組み状況

直接的な原因に対する再発防止対策

点検計画表不備への対応

点検計画表の修正 (H22年6月末完了)

業務手順の改善・明確化, 手順書の見直し

直接原因に係る再発防止対策 (H22年7月末完了)

点検計画の作成・変更, 工事仕様書の作成手順の見直し等, 点検不備に至った業務手順の改善・明確化を実施。

その他の取り組み

点検計画表の継続的見直し
 点検計画表における点検方法, 点検頻度等について, 機器の安全重要度, 劣化要因を考慮して, より妥当性の高い内容に継続的に見直し

◇点検計画表における点検方法, 点検頻度等の継続的見直しを検討するワーキンググループを結成し, 活動中。

保守管理活動全体を管理する「統合型保全システム(EAM)」の活用

- ・現在開発中のEAMにより, 紙ベースで管理している膨大なデータをシステムで管理
- ・「原子力強化プロジェクト」は, 発電所と連携して業務プロセスの改善による更なる業務処理の正確性および効率性向上を検討, 実施

◇2号機の点検計画表データをEAM保守管理データとして整備し, 第17回定期検査(H24/1開始)に向けて, H23/12に本運用を開始。

◇1号機についても, 点検計画表データをEAM保守管理データとして整備し, H24/10より運用開始。

点検時期を超過していた機器の健全性評価

◇2号機162機器の全てについて健全性の確認を終了(H22.7.27)

◇1号機349機器の全てについて健全性の確認を終了(H23.1.6)

根本的な原因に対する再発防止対策

根本的な原因

不適合管理

不適合管理を適切, 確実に
行うための仕組みが不足していた。

マネジメント

規制要求事項の変更に
速やかに対応してマネジメント
できる仕組みが十分で
なく適切な対応ができ
なかった。

組織・風土

「報告する文化」「常に
問いかける姿勢」が組織
として不足していた。

原子力品質マネジメントシステムの充実

不適合管理プロセスの改善

■不適合管理が適切に行われ, 不適合の判断が限られた箇所決定されること等がないよう, 不適合管理プロセスを改善する。

- 不適合管理を専任で行う担当を設置 (H22.6.29)
 <活動状況> ・発電所員に対し, 不適合管理の必要性や基準についての教育を実施 (H22.7.29~8.2) ・品質保証講演会 (H22.9.16), 不適合判定検討会委員への専門教育 (H22.10.14)
- すべての不具合情報について検討し処置を決定する「不適合判定検討会」の運用を開始 (H22.8.1)
 <活動状況> 不適合と判定した事象全てを半月毎に当社ホームページ上で公開 (H22.9.7開始)

原子力部門の業務運営の仕組み強化 (保守管理体制・品質保証体制の再構築)

■規制要求の変化に速やかに対応し, 適切にマネジメントできる仕組みを強化する。

- 原子力部門の重要課題を統括する「原子力部門戦略会議」を設置 (H22.7.27)
 <活動状況> 第1回開催 (H22.7.27) ~ **第106回開催 (H30.1.25)**
- 本社, 発電所からなる「原子力安全情報検討会」を設置 (H22.7.30)
 <活動状況> 第1回開催 (H22.8.13) ~ **第79回開催 (H29.12.12)**
- 発電所の統括機能を強化し, 責任体制を明確化するため, 品質保証部・保守部を設置 (H22.9.7), 技術部・発電部を設置 (H23.3.1)。

原子力安全文化醸成活動の推進

■経営における原子力の重要性や地域社会の視点からの安全文化の大切さを全社 (関係会社・協力会社を含む) で醸成する活動を推進する。

- 社長直属の組織として「原子力強化プロジェクト」を設置 (H22.6.29)
 - ・職場話し合い研修: H22年度3回。H23~H25年度年間2回。H26年度以降年間1回。H29年度は4月~6月に実施。グループ行動基準も策定。
 - ・役員と発電所・建設所員との意見交換会を実施: H22年度8回。H23年度以降年間6回 (H25年度7回)。H29年度は6.9, 7.24, 9.15, 11.22, **1.17**に実施。
 - ・原子力安全文化醸成研修会を開催: H22年度3回。H23~H25年度年間2回。H26~H27年度年間1回。H28年度2回。H29年度は5.11, 11.27に開催。
 - ・福島支援派遣者座談会を実施し, 社内報に掲載 (H23年度)。
 - ・原子力部門関係者の情報交換の場となる社内SNSを活用 (H22.12~H26.12)。
- 社外有識者を中心に構成する「原子力安全文化有識者会議」を設置し開催: H22年度4回。H23年度以降年間2回 (H27年度は臨時開催を含み3回)。H29年度は9.22, **2.9**に開催。
- 地元の方々との対話活動の充実
 鹿島町・島根町・橋北地区全戸訪問 (H22年度), 技術系社員による見学会対応 (H22.7~), 定例訪問へ参加 (H22.7~), 地元行事へ積極参加 (H22.9~), 地元意見の職場内共有 (H22.9~)
- 原子力の重要性や安全文化の大切さを全社で確認する「原子力安全文化の日」を制定 (H22.6.3)
 H23年度から毎年6月に行事実施。H29年度はH29.6.2に発電所で社長訓話, 「誓いの言葉」唱和等を実施するとともに, 全社に対し社長メッセージを発信。
- コンプライアンス強調月間行事として, 点検不備問題に関する風化防止ビデオの視聴など